



# 平成 19 年度 京都大学防災研究所研究発表講演会 プログラム

開催日：平成 20 年 2 月 28 日(木) ～ 29 日(金)

場 所：京都テルサ 京都市南区東九条下殿田町 70 番地  
JR 京都駅から南へ徒歩 10 分

## 平成 20 年 2 月 28 日(木)

開会の辞	9:20 - 9:25	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
特別講演	9:25 - 11:55	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
災害調査報告	13:30 - 14:50	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
ゲスト講演	15:00 - 15:30	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
一般講演	15:45 - 19:15	

A 会場 [第 1 会議室]	B 会場 [第 1・2 セミナ-室]	C 会場 [第 3 セミナ-室]	D 会場 [中会議室]	E 会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(I)	大気・水(I)	地震・火山(II)	総合防災(I)	地 盤(I)

## 平成 20 年 2 月 29 日(金)

一般講演 9:20 - 11:35

A 会場 [第 1 会議室]	B 会場 [第 1・2 セミナ-室]	C 会場 [第 3 セミナ-室]	D 会場 [中会議室]	E 会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(III)	大気・水(II)	大気・水(III)	総合防災(II)	地 盤(II)

一般講演 14:00 - 17:30

A 会場 [第 1 会議室]	B 会場 [第 1・2 セミナ-室]	C 会場 [第 3 セミナ-室]	D 会場 [中会議室]	E 会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(IV)	大気・水(IV)	大気・水(V)	総合防災(III)	地 盤(III)

ポスターセッション 9:00 - 17:00 A・B・C 会議室 (3 階)

ポスターセッション発表は 11:30 - 14:00

# 京都テルサ（A 会場）

平成 20 年 2 月 28 日（木）

9:20 開会の辞 所長 石原 和弘

特別講演 9:25 - 11:55

9:25 建築・防災の先端技術と伝統技術の確立を目指して

With the aim for establishing advanced and traditional technologies in architecture and disaster prevention

教授 鈴木 祥之

10:10 大地震に学ぶ内陸地震の発生機構と不均質構造

Source processes of inland earthquakes and heterogeneous structures revealed from large earthquakes

教授 伊藤 潔

10:55 （ 休 憩 ）

11:10 都市域とその周辺における大気微量成分の気候学

Climatology of atmospheric trace gases in the city and its surrounding

教授 岩嶋 樹也

災害調査報告 13:30 - 14:50

13:30 2007 年新潟県中越沖地震発生後の新潟県災害対策本部における状況認識の統一

Common Operational Picture of disaster management headquarters, Niigata prefecture at Niigata-ken Chuetsuoki Earthquake, 2007

特別研究員（生存基盤科学研究ユニット助教） 浦川 豪

13:50 2007年能登半島地震  
－強震動の特徴と地震災害－

The 2007 Noto-Hanto earthquake

－ Characteristics of strong ground motions and earthquake disaster －

教授 岩田 知孝

14:10 2007ソロモン諸島地震津波災害の被害と社会の対応

Damage and societal response after the 2007 Earthquake Tsunami Disaster in Solomon Islands

准教授 牧 紀男

14:30 バングラデシュに襲来したサイクロン "Sidr" による被害について

Severe damage by the cyclone " Sidr " in Bangladesh

准教授 林 泰一

ゲスト講演 15:00 - 15:30

15:00 気候変動予測研究の現状と今後の展望

Present and future of climate change prediction research

気象庁気象研究所予報研究部 部長 杉 正人

## 一 般 講 演

### 地震・火山（I）

#### A会場〔第1会議室〕

- 15:45 A01. 歪硬化に基づく伝統木造仕口のめり込みメカニズム  
○棚橋秀光・岡村雅克・鈴木祥之
- 16:00 A02. 礎石建て構法木造建物の地震時挙動に関する研究  
○向坊恭介・川上沢馬・鈴木祥之
- 16:15 A03. 超高減衰型粘弾性ダンパーを用いた梯子状梁の振動台実験  
○白山敦子・鈴木祥之・田中和宏・田中克往
- 16:30 A04. 振動台実験による回転型摩擦ダンパーの制振性能の検証  
○豊岡亮洋・家村浩和・姫野岳彦・比志島康久・與北雅友
- 16:45 A05. Reproduction of high-rise buildings seismic responses by full-scale shaking table test using feedback control technique  
○Xiaodong Ji・Ryuta Enokida・Kouichi Kajiwara・Takuya Nagae  
Toko Hitaka・Masayoshi Nakashima
- 17:00 A06. 鋼構造露出柱脚と基礎モルタル間の摩擦性状に関する振動台実験  
○池永昌容・勝尾美香・長江拓也・Jason MacCormic  
張 鵬程・中島正愛
- 17:15 A07. 長周期地震動を受ける超高層建物の耐震性能評価  
○鍾 育霖・長江拓也・福山國夫・梶原浩一  
井上貴仁・日高桃子・中島正愛
- 17:30 ( 休 憩 )
- 17:45 A08. Cyclic Tests on wood panel restrained steel shear walls with slits  
○Andres Jacobsen・Toko Hitaka・Masayoshi Nakashima
- 18:00 A09. 雑壁の力学性状が中層共同住宅の地震応答におよぼす影響  
○日高桃子・今津裕子
- 18:15 A10. Seismic force reduction coefficient for equivalent static design of chevron-braced frames  
○Tao Wang・Mikiko Kato・Xiaodong Ji・Toko Hitaka  
Masayoshi Nakashima
- 18:30 A11. Use of Steel Fiber Reinforced Cementitious Composites (SFRCC) in Shallow Embedded Column Bases  
○Yao Cui・Tomomi Uemura・Toru Tai・Toko Hitaka  
Masayoshi Nakashima

平成 20 年 2 月 28 日(木)

18:45 A12. 杭－地盤系の非線形挙動が群杭効果の振幅依存性に及ぼす影響

○柏 尚稔・勝二理智・林 康裕・吹田啓一郎

19:00 A13. 鉄骨建物に要求される許容残留変形と残留変形低減システムの開発

○中島正愛・油野 宏・松岡祐一・花房広哉・Tao Wang  
村田庸介・日高桃子

# 一 般 講 演

## 大気・水 (I)

### B 会場 [第 1・2 セミナー室]

- 15:45 B01. 成層圏循環が対流圏北半球環状モードの予測可能性に及ぼす影響  
○向川 均・黒田友二・廣岡俊彦
- 16:00 B02. ブロッキングと成層圏突然昇温との関連についての解析的研究  
○風本圭佑・向川 均
- 16:15 B03. 熱帯域季節内振動の活動度と予測可能性との関係  
○谷口 博・向川 均・近本喜光・久保田拓志  
前田修平・佐藤 均・伊藤 明
- 16:30 B04. JRA25 再解析データに基づくハドレー循環の長期変化に関する解析  
○正木岳志・岩嶋樹也・向川 均
- 16:45 B05. 大気中二酸化炭素収支の年々変動に関する数値モデルを用いたシミュレーション  
による研究 (2)  
井口敬雄
- 17:00 B06. A downscale experiment of numerical weather predictions in Indochina region  
○Palikone Thalongsengchanh・Shigenori Otsuka・Shigeo Yoden
- 17:15 ( 休 憩 )
- 17:30 B07. WRF モデルを用いた高解像度気象シミュレーションシステムの構築：豪雨の事例解析  
○辰己賢一・竹見哲也・石川裕彦
- 17:45 B08. メソ降水系の構造と強度に及ぼす静的安定度の影響  
竹見哲也
- 18:00 B09. 大気境界層における乱流構造  
－気象研究所気象観測鉄塔(つくば)による観測－  
○堀口光章・林 泰一・足立アホロ・小野木茂
- 18:15 B10. チベット高原気象観測の 10 年  
石川裕彦
- 18:30 B11. ラージエディシミュレーションによる竜巻状の渦を作る試み  
丸山 敬
- 18:45 B12. ダブルスキンファサードに作用する風圧力に関する実大測定について  
○河井宏允・西村宏昭・鈴木雅靖・大浦 豊

# 一 般 講 演

## 地震・火山（Ⅱ）

### C 会場〔第 3 セミナー室〕

- 15:45 C01. GPS 観測から明らかになった桜島のマグマ活動  
○井口正人・高山鐵朗・山崎友也・多田光宏・鈴木敦生・植木真人  
太田雄策・中尾 茂・鹿児島県土地家屋調査士会
- 16:00 C02. 桜島火山における火山性地震観測の強化  
－陸域観測と海底地震計観測－  
○為栗 健・井口正人・八木原寛・宮町宏樹  
山崎友也・高山鐵朗・平野舟一郎
- 16:15 C03. 桜島の重力異常について  
○駒澤正夫・中村佳重郎・山本圭吾・井口正人・赤松純平  
市川信夫・高山鐵朗・山崎友也
- 16:30 C04. 桜島火山における AMT 法比抵抗構造調査  
○神田 径・山崎友也・橋本武志・坂中伸也・山田健太・小川康雄  
相澤広記・高倉伸一・小山崇夫・小林 宰・小森省吾
- 16:45 C05. 桜島・始良カルデラにおける空中磁気観測  
○宇津木充・神田 径・井上寛之・大久保綾子・小山崇夫・高山鐵朗  
為栗 健・田中良和・石原和弘・Tony Hurst
- 17:00 ( 休 憩 )
- 17:15 C06. Temporal change of spectra of volcanic earthquakes at Kuchinoerabujima volcano  
－corner frequency of HF events－  
○Hetty Triastuty・Masato Iguchi・Takeshi Tameguri
- 17:30 C07. 火口湖の水位変動から示唆される阿蘇火山の浅部熱水循環システム  
○寺田暁彦・橋本武志・鍵山恒臣・佐々木寿
- 17:45 C08. Study on volcano-tectonic earthquakes and magma supply system at Guntur volcano,  
Indonesia with long-term dormant period  
○Nurlia Sadikin・Masato Iguchi・Muhamad Hendrasto・Gede Suantika
- 18:00 C09. レシーバ関数による九州中部地域の地下構造解析  
○安部祐希・大倉敬宏・平原和朗・加藤 護・澁谷拓郎
- 18:15 C10. 熱赤外カメラとテレビカメラによる 2007 年桜島昭和火口周辺の火山活動モニタリ  
ング  
○横尾亮彦・為栗 健・井口正人・石原和弘

# 一 般 講 演

## 総合防災（Ⅰ） D 会場〔中会議室〕

- 15:45 D01. 歴史的景観の保全に配慮した伝統的木造市街地の延焼火災対策に関する基礎的  
検討  
○樋本圭佑・田中哮義
- 16:00 D02. 密集市街地における地震防災と耐震改修促進に関する住民意識  
－京都市内 3 学区の調査－  
○小笠原昌敏・鈴木祥之
- 16:15 D03. Implementation challenges of rainwater recycling practice reducing water risks in  
Bangladesh  
－ an analysis of social innovation －  
○Subhajyoti Samaddar・Norio Okada
- 16:30 D04. 豪雨災害被災住民の防災情報に対する認識  
－ 2006 年 10 月北日本豪雨災害を事例として－  
○牛山素行・國分和香那
- 16:45 D05. 地域の取組能力向上プロセスとして見た山間地域の総合防災  
○岡田憲夫・羅 貞一
- 17:00 ( 休 憩 )
- 17:15 D06. 災害時における企業の減災行動の分析  
○梶谷義雄・多々納裕一・中野一慶
- 17:30 D07. 家計の流動性制約に伴う水害復旧過程への影響と被害計測手法に関する一考察  
○大西正光・関川裕己・小林潔司
- 17:45 D08. Effective governmental intervention into insurance market  
－ macro economic perspective －  
○Tao Ye・Muneta Yokomatsu・Norio Okada
- 18:00 D09. 世帯所得の分布を考慮した立地均衡モデルによる流域管理政策の費用便益評価  
○市川 温・寺本雅子・沼間雄介・西澤諒亮  
立川康人・椎葉充晴
- 18:15 D10. 自然災害による経済被害の整合的評価方法に関する理論的考察  
－ 開放経済下の経済成長モデルを用いて－  
○中野一慶・多々納裕一



# 一 般 講 演

## 地 盤 ( I )

### E 会場 [視聴覚研修室]

- 15:45 E01. 2005 年台風 14 号豪雨で発生した宮崎県日南山地の地すべりの地形的特徴  
○西山賢一・北村真一・高谷精二・鈴木恵三・長岡信治
- 16:00 E02. 豪雨による斜面崩壊の分布を規制する土層構造と風化帯の一例  
○松澤 真・千木良雅弘
- 16:15 E03. 平成 18 年 7 月豪雨で発生した岡谷市土石流の流動化機構について  
○岡田康彦・福岡 浩・落合博貴
- 16:30 E04. Hydrological properties of preferential flow paths  
○Kirill M. Gerke・Roy C. Sidle
- 16:45 ( 休 憩 )
- 17:00 E05. Impact of road generated runoff at a catchment scale  
○Daniel W. Woldie・Roy C. Sidle
- 17:15 E06. 焼岳上々堀沢に発生する土石流の規模・形態と降雨・流出条件の関係  
○岡野和行・諏訪 浩
- 17:30 E07. 2006 年岡谷豪雨による斜面崩壊の発生場とその従前の履歴  
○千木良雅弘・松澤 真・中村 剛
- 17:45 E08. 豪雨による斜面崩壊の発生位置予測の一方法  
齊藤隆志

## 一 般 講 演

### 地震・火山 (Ⅲ)

#### A 会場 [第 1 会議室]

- 9:20 A14. The emergency response of the public people during 2007 Noto Hanto Earthquake  
Masumi Yamada
- 9:35 A15. 地震動の早期警報と高速道路走行中の車両挙動について  
○清野純史・鈴置真央・Charles Scawthorn
- 9:50 A16. 応答スペクトル法に基づく地盤増幅を考慮した地震リスク評価  
石田 寛
- 10:05 A17. 2007 年能登半島地震時の K-NET 穴水の地震動特性  
○岩田知孝・浅野公之
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 A18. ウェーブレット領域インバージョンによる広帯域地震波放射過程の推定  
○鈴木 亘・岩田知孝
- 10:50 A19. ガラーキン境界積分方程式法を用いた自発的な断層破壊解析手法の開発  
○後藤浩之・Jacob Bielak
- 11:05 A20. 2007 年新潟県中越沖地震 (Mj6.8) の震源モデルと強震動  
○釜江克宏・川辺秀憲
- 11:20 A21. 強震記録と GPS 変位記録から推定した 2007 年能登半島地震の震源過程  
○浅野公之・岩田知孝

## 一 般 講 演

### 大気・水 (II)

#### B 会場 [第 1・2 セミナー室]

- 9:20 B13. Cバンド偏波レーダーを用いた降水粒子識別とビデオゾンデを用いた集中同期  
検証観測  
○中北英一・竹畑栄伸・隅田康彦・山口弘誠・鈴木賢士  
中川勝広・大石 哲・出世ゆかり・坪木和久
- 9:35 B14. 偏波レーダーデータの同化に向けた OSSE による氷相雲物理の同化実験  
○山口弘誠・中北英一
- 9:50 B15. 衛星観測情報から推定する瞬時降雨量の時間相関長さのグローバル分布  
中北英一・○木島梨沙子・岡根俊介
- 10:05 B16. レーダー・アメダス解析雨量を用いた地域別最大級降雨量の評価  
○荒川英誠・寶 馨
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 B17. 2007 年のインド亜大陸北東部の洪水と降雨について  
○林 泰一・寺尾 徹・村田文絵・中山由美・加藤丈朗
- 10:50 B18. 新疆タリム河流域の地下水流動解析  
○Batur Abudoureyimu・城戸由能・田中幸夫・中北英一
- 11:05 B19. Surface runoff modeling of ephemeral streams considering homogenization theory in arid  
regions, Wadi Assiut in Egypt  
○Mohamed Saber・Toshio Hamaguchi・Toshiharu Kojiri
- 11:20 B20. Conjunctive modeling of two-dimensional surface and ground water flow considering  
water volumetric distribution  
○Sina Nasouhi・Toshio Hamaguchi・Toshiharu Kojiri

# 一 般 講 演

大気・水 (Ⅲ)

C 会場 [第 3 セミナー室]

- 9:20 C11. Prediction of flood/debris flow hydrograph due to landslide dam failure by overtopping and sliding  
○Ripendra Awal・Hajime Nakagawa・Kenji Kawaike  
Yasuyuki Baba・Hao Zhang
- 9:35 C12. Numerical simulation on debris-flow deposition and erosion processes upstream of a check dam with experimental verification  
○Badri B. Shrestha・Hajime Nakagawa・Kenji Kawaike・Yasuyuki Baba
- 9:50 C13. 落差工の改変に伴う上流河道の河床変動に関する実験  
○神田佳一・武藤裕則・張 浩・南部泰範・佐本佳昭  
竹門康弘・玉 基英・中川 一
- 10:05 C14. A bed-porosity variation model and its application  
○Muhammad Sulaiman・Masaharu Fujita・Daizo Tsutsumi
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 C15. 貯水池からの排砂に伴う流砂パルスが河道に与える影響  
○南 修平・藤田正治
- 10:50 C16. Effects of groins on flow and bed deformation under non-submerged and submerged conditions  
○Hiroshi Teraguchi・Hajime Nakagawa・Hao Zhang  
Yasunori Muto・Yasuyuki Baba
- 11:05 C17. 非破壊物理探査法による埋没水害地形同定の試み  
○東 良慶・関口秀雄・釜井俊孝
- 11:20 C18. 旧巨椋池付近の水害地形と湖水位変化  
植村善博

# 一 般 講 演

## 総合防災（Ⅱ）

### D 会場〔中会議室〕

- 9:20 D11. The concept of landslide risk assessment by incorporating numerical simulations  
○Tingyeh Wu・Kaoru Takara
- 9:35 D12. 住宅用はしご型フレームの復元力特性と抵抗メカニズム  
○岡村雅克・鈴木祥之・棚橋秀光
- 9:50 D13. 減災型地域コミュニティマネジメントのための戦略的リスクコミュニケーション  
技法に関する研究  
○羅 貞一・岡田憲夫・竹内裕希子
- 10:05 D14. Imperfect effort of disaster mitigation and dynamic policy of micro-credit  
○Wei-Bin Yu・Muneta Yokomatsu・Norio Okada
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 D15. Development of regional rainfall IDF curves base on scaling properties  
○Le M. Nhat・Yasuto Tachikawa・Takahiro Sayama・Kaoru Takara
- 10:50 D16. 津波の地域性を考慮した防災戦略  
○奥村与志弘・河田恵昭
- 11:05 D17. NRCS-curve number based hydrologic regionalization of Nepalese river basins for flood  
frequency analysis  
○Binaya K. Mishra・Kaoru Takara・Yasuto Tachikawa
- 11:20 D18. An assessment of community based earthquake disaster management  
– a case study of urban communities in Kathmandu Nepal –  
○Roshan B. Bhandari・Norio Okada

# 一 般 講 演

## 地 盤 (Ⅱ)

### E 会場〔視聴覚研修室〕

- 9:20 E09. Hydrologic, soil, and topographic characteristics of a landslide site in Okaya city, Nagano prefecture  
○Gholamreza Shoaei・Roy C. Sidle
- 9:35 E10. Fluidization mechanism in fine and coarse soils  
– an experimental insight on the effect uniformity coefficient on the behavior of soils –  
○Ogbonnaya Igwe・Hiroshi Fukuoka・Kyoji Sassa  
Muhammad W. Agung
- 9:50 E11. 自制した運動  
– 流動型地すべりにおけるクリープ変動のメカニズムとして –  
○王 功輝・末峯 章・William Schulz・汪 發武
- 10:05 E12. Experimental study of rainfall-induced landslides by means of ring-shear test  
○Ekaterina Georgieva・Toshitaka Kamai・Hiroshi Fukuoka  
Gonghui Wang・Fawu Wang
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 E13. Shear deformations in fine-grained soils  
○Jozef Jurko・Kyoji Sassa・Hiroshi Fukuoka
- 10:50 E14. 泥岩地すべりの高速移動機構の検討  
○齊藤龍太・王 功輝・末峯 章・福岡 浩
- 11:05 E15. 丹波帯山地斜面で 2007 年 11 月 22 日に起きた落石の復元  
○諏訪 浩・石井孝行
- 11:20 E16. なぜ泥質片岩に地すべりが多発するのか？  
○山崎新太郎・千木良雅弘

# 一 般 講 演

## 地震・火山 (IV)

### A 会場 [第 1 会議室]

- 14:00 A22. 相対重力計で観測された重力の経年変化  
中村佳重郎
- 14:15 A23. 紀伊半島南部ヒンジライン近傍における簡易ひずみ計による地殻変動連続観測  
○尾上謙介・細 善信・松尾成光・高橋輝雄・藤田安良・橋本 学
- 14:30 A24. GEONET データで見る中越地震および中越沖地震前後の歪速度変化  
大谷文夫
- 14:45 A25. 「だいち」と GPS による 2007 年 3 月スマトラ中部地震による地殻変動  
○橋本 学・片木 武・大塚雄一
- 15:00 A26. InSAR を用いたアイセン(チリ南部)群発地震に伴う地殻変動解析  
福島 洋
- 15:15 A27. 日本列島周辺のプレート境界のゆっくり地震のレビューとマッピング  
川崎一朗
- 15:30 ( 休 憩 )
- 15:45 A28. 跡津川断層東部の微小地震活動  
○和田博夫・伊藤 潔・大見士朗・平野憲雄
- 16:00 A29. 近畿地方中央部の地殻不均質構造と地震活動  
西上欽也
- 16:15 A30. 最大振幅情報を援用した微小地震発震機構決定の高精度化  
片尾 浩
- 16:30 A31. 四国東部の起震応力場について  
○許斐 直・松村一男・近藤和男
- 16:45 A32. 山崎断層に掘削されたボアホールでのハイドロフォン観測  
○加納靖之・柳谷 俊・James Mori
- 17:00 A33. 満点(万点)計画  
- 次世代型地震観測システムの開発 -  
○飯尾能久・三浦 勉・片尾 浩・澁谷拓郎・宮澤理稔  
井口正人・平野憲雄・西村和浩・大見士朗  
平原和朗・大倉敬宏・松本 聡・高島一徳  
大橋善和・古屋和雄

平成 20 年 2 月 29 日(金)

17:15 A34. 満点(万点)計画

－次世代型地震計の開発－

○三浦 勉・飯尾能久・片尾 浩・澁谷拓郎・宮澤理稔・井口正人  
平野憲雄・西村和浩・大見士朗・平原和朗・大倉敬宏  
松本 聡・高畠一徳・大橋善和・古屋和雄



## 一 般 講 演

### 大気・水 (Ⅳ)

#### B 会場〔第 1・2 セミナー室〕

- 14:00 B21. 河川流域における環境影響物質発生領域の特定手法の開発  
○小尻利治・田中千尋・田中賢治・浜口俊雄
- 14:15 B22. TCBM を利用した洪水流況予測に関する研究  
○和田健太郎・小尻利治・原山和也・浜口俊雄
- 14:30 B23. 貯水池操作での利活用を目的とした地球規模気象・水文情報の抽出  
○野原大督・岡田知也・堀 智晴
- 14:45 B24. 気候モデルモデルのバイアス検出と補正  
○田中賢治・萩澤佑樹・佐久間良一・小尻利治
- 15:00 B25. AGCM の気象予測値を用いた温暖化時の河川流量予測  
－最上川と吉野川を対象として－  
○立川康人・中山正之・滝野晶平・市川 温・椎葉充晴
- 15:15 B26. 気候変動による流域水環境の変動特性に関する比較  
○井本昂志・小尻利治・田中賢治・浜口俊雄
- 15:30 ( 休 憩 )
- 15:45 B27. 分布型モデルによる融雪流出解析について  
－地球温暖化影響評価を目指して－  
○寶 馨・甲山 治・小林健一郎・佐原将史・倉増銀一  
竹内 出・角谷 保
- 16:00 B28. 水道水源貯水池の水質悪化に関する研究  
○牧野育代・寶 馨
- 16:15 B29. 底生動物群集による鴨川の河川環境の現状評価  
○竹門康弘・鈴木淳史
- 16:30 B30. バングラデシュにおける安全な飲料水に関する選択行動分析  
○柴田 翔・萩原良巳・萩原清子・酒井 彰・高橋邦夫
- 16:45 B31. 治水・環境保全・空間利活用を評価軸とした河川整備に関する問題意識調査と  
経済評価  
小嶋佑典・○細田 尚
- 17:00 B32. 水辺計画のための GES 環境評価  
○萩原良巳・萩原清子・柴田 翔・松島敏和  
松島フィオナ・河野真典

# 一 般 講 演

大気・水 (V)

C 会場 [第 3 セミナー室]

- 14: 00 C19. 長周期波浪の地層記録  
－ジャイアント・リップルの形成条件－  
○谷口圭輔・高川智博・増田富士雄
- 14: 15 C20. Dynamic of saltwater intrusion in a coastal aquifer  
－examination of field performance－  
○Kriyo Sambodho・Ryokei Azuma・Hideo Sekiguchi
- 14: 30 C21. 田辺湾の津波堆積物  
原口 強・○鳥居和樹・吉永佑一・関口秀雄・芹澤重厚  
東 良慶・武藤裕則・山崎秀夫
- 14: 45 C22. 2004 年インド洋大津波によってタイの海岸低地に形成された津波堆積物の特徴  
○松本 弾・成瀬 元・藤野滋弘・Apichart Suphawajruksakul  
Thanawat Jarupongsakul・坂倉範彦・村山雅史
- 15: 00 C23. 陸上遡上津波に伴う漂流物挙動の数値解析  
○米山 望・永島弘士・戸田圭一
- 15: 15 C24. 多層透水層による波浪変形特性に関する実験的研究  
○間瀬 肇・作中淳一郎・安田誠宏・中平順一・新井雄太郎
- 15: 30 ( 休 憩 )
- 15: 45 C25. 白良浜海岸における波浪特性の経年変化と構造物による影響評価  
○安田誠宏・塚本淳仁・間瀬 肇・島田広昭・石垣泰輔
- 16: 00 C26. 非対称振動流の水理条件がウェーブリップル形態に与える影響  
○山口直文・関口秀雄
- 16: 15 C27. 流れによる波の屈折とその碎波減衰モデルに関する研究  
沖 和哉
- 16: 30 C28. Numerical study of storm surge simulations in the Seto Inland Sea by surge-wave coupled prediction model and mesoscale atmospheric model  
Tomohiro Yasuda・○Soo Y. Kim・Tatsuya Yamaguchi  
Hiroaki Shimada・Taisuke Ishigaki・Hajime Mase
- 16: 45 C29. 上越海岸の長期海浜変形評価に供する波浪・風特性のモデル化  
間瀬 肇・○勝井伸悟・安田誠宏

平成 20 年 2 月 29 日(金)

17:00 C30. 観測棧橋周辺の海底底質調査と海浜形状変化

○馬場康之・内山 清・関口秀雄・中川 一

17:15 C31. 広域海浜変形の推移をとらえる - 上越地域海岸について

○関口秀雄・東 良慶・石平 進

## 一 般 講 演

### 総合防災（Ⅲ） D 会場〔中会議室〕

- 14:00 D19. 洪水リスクコミュニケーション支援システムの開発  
○多々納裕一・畑山満則
- 14:15 D20. Analysis of peak streamflow distributions based on Neyman-Scott synthetic rainfall  
○Carlo Mondonedo・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- 14:30 D21. コミュニカティブ・サーベイ手法による参加型災害リスクコミュニケーション  
○竹内裕希子・徐 偉・矢守克也・梶谷義雄・岡田憲夫
- 14:45 D22. 長期的な被災者支援を可能とする合理的な被災者台帳の構築に向けて  
○井ノ口宗成・林 春男・田村圭子
- 15:00 D23. 多重仮想時間軸を持つ時空間データベースシステムの開発  
○畑山満則・多々納裕一
- 15:15 ( 休 憩 )
- 15:30 D24. 多層ゾーン煙流動モデルの開発とトンネル火災への適用  
○田中哮義・鈴木圭一
- 15:45 D25. 多相・多成分モデルによるメタン輸送数値実験  
○小林健一郎・寶 馨
- 16:00 D26. Examining the relationships of earthquake preparedness factors at household level, case study  
– Shuhachi and Jouson community, Kyoto city –  
○Saut Sagala・Risye Dwiyani・Robert Bajek  
Yukiko Takeuchi・Norio Okada
- 16:15 D27. インドネシア・ジョグジャカルタおよびバンダアチェ被災住民の意識調査と防災支援策の提案  
○阪本真由美・河田恵昭
- 16:30 D28. 災害復興援助における援助供与国の政策的動機に関するゲーム論的研究  
○横松宗太・池内隆介・岡田憲夫

# 一 般 講 演

## 地 盤 (Ⅲ)

### E 会場〔視聴覚研修室〕

- 14:00 E17. 風化花崗岩類の表層崩壊と風化様式, および岩石組織との関係について  
○戸邊勇人・千木良雅弘
- 14:15 E18. 四国北東部阿讃山脈中部の斜面形成過程と地すべり  
○松本充弘・千木良雅弘
- 14:30 E19. 航空レーザ測量データを用いた詳細地形解析と崩壊による斜面発達研究への適用  
○土志田正二・千木良雅弘
- 14:45 E20. 2007 年新潟県中越沖地震による都市域の斜面災害  
釜井俊孝
- 15:00 E21. 全国電子地盤図の作製と地盤防災への適用性に関する研究  
○山本浩司・三村 衛・吉田光宏
- 15:15 ( 休 憩 )
- 15:30 E22. 高松塚古墳発掘調査による墳丘の地盤特性の評価  
○三村 衛・金田 遥・吉村 貢
- 15:45 E23. 砂の繰返し載荷時の挙動モデルとしてのひずみ空間多重モデルにおけるストレス  
ダイレイタンスー関係  
○井合 進・飛田哲男
- 16:00 E24. 液状化地盤におけるソイルベントナイト鉛直遮水壁の挙動に関する遠心模型実験  
○乾 徹・嘉門雅史・勝見 武・高井敦史・栗原太志
- 16:15 E25. 杭の剛性が基礎根入れ部に作用する土圧と側面摩擦力に及ぼす影響  
○田村修次・前田修宏・坂本 忠・肥田剛典
- 16:30 E26. ウェーブレット変換を用いた地盤-杭-構造物系の地震時挙動の評価  
○肥田剛典・田村修次・坂本 忠・前田修宏
- 16:45 E27. 水平成層地盤における拡張型相似則の検証  
○飛田哲男・井合 進・野田早紀・富阪和秀

## ポスターセッション

A・B・C 会議室 9:00-17:00

発表 11:30-14:00

- P01. 古地磁気からみた桜島南岳の形成過程  
○味喜大介・宇都浩三・石原和弘
- P02. 桜島および始良カルデラ周辺域における水準測量 (2007 年 10 月-12 月)  
○山本圭吾・高山鐵朗・山崎友也・多田光宏・大倉敬宏・吉川 慎・松島 健  
内田和也・中元真美・平岡喜文・塩谷俊治・根本盛行
- P03. B 型地震群発活動及び火山性微動に伴う地盤変動について  
○立尾有騎・井口正人
- P04. 福井県及び周辺の地震活動とテクトニクス  
○岡本拓夫・平野憲雄・和田博夫・西上欽也・竹内文朗・伊藤 潔
- P05. 屯鶴峯観測所における水平振子傾斜計による地殻変動観測  
○藤田安良・尾上謙介
- P06. 阿武山観測坑内における湧水の連続観測  
○浅田照行・中村佳重郎
- P07. 北陸観測所 30 年間の地震観測 (2)  
○竹内文朗・澁谷拓郎・松村一男・平野憲雄・西上欽也・岡本拓夫
- P08. 四国徳島県における地下水観測  
○細 善信・近藤和男・尾上謙介
- P09. 群発地震発生域での自然電位連続観測  
○吉村令慧・山崎健一・上嶋 誠・大志万直人
- P10. 防災研究所が中部・西部日本に展開する地磁気全磁力観測網の意義  
○山崎健一・大志万直人・吉村令慧
- P11. 西南日本背弧での海域・陸域 MT 観測  
○大志万直人・藤 浩明・笠谷貴史・塩崎一郎・下泉政志・吉村令慧  
中尾節郎・山口 覚・新貝雅文・矢部 征・高木 悠・望戸裕司  
玉井信太郎・山崎 明・藤井郁子・大和田毅・豊留修一  
岩瀬由紀・森山多加志・村上英記・臼井嘉哉・上嶋 誠
- P12. 地震波干渉法の応用による地殻構造モニタリングの試み  
○大見士朗・平原和朗・和田博夫・伊藤 潔
- P13. 九州地域 Network-MT 法観測データの再解析  
○畑 真紀・大志万直人・吉村令慧・田中良和・上嶋 誠  
市来雅啓・九州地域 Network-MT 研究グループ

- P14. 光伝送技術を使用した新しいデータ収集システムの開発  
森井 互
- P15. 地殻変動連続観測における季節変化(その1)  
○寺石眞弘・尾上謙介・大谷文夫・中村佳重郎・竹内文朗  
森井 互・細 善信・園田保美・和田安男
- P16. 地殻変動連続観測における季節変化(その2)  
○園田保美・尾上謙介・大谷文夫・中村佳重郎・竹内文朗  
寺石眞弘・森井 互・細 善信・和田安男
- P17. 紀伊半島下のフィリピン海プレートと蛇紋岩化マントルウェッジ  
○北脇裕太・澁谷拓郎・西村和浩・中尾節郎・福嶋麻沙代  
伊藤 潔・大見士朗・小河和雄・平原和朗
- P18. 山崎断層周辺の地震活動  
- 30年間のデータのまとめと新しい地震観測 -  
○澁谷拓郎・中尾節郎・西村和浩・福嶋麻沙代・James Mori・加納靖之
- P19. 広帯域地震波形を用いた断層面の決定法  
福山英一
- P20. 能登半島門前町道下における反射法地盤構造調査  
○松波孝治・飛田哲男・齊藤隆志・中村正夫・井川 猛・郷 隆之  
小池太郎・小田 尚・澤田壮一郎・駒田希充・小林理紗
- P21. 3D simulations of long-period wave propagation in Eastern Osaka basin due to subduction earthquakes – sensitivity to model and source parameters  
○Ivo Oprsal・Tomotaka Iwata
- P22. 震度分布情報と強震動評価結果を用いた連動型地震の震源モデル化手法の検討  
○栗山雅之・岩田知孝
- P23. 2007年新潟県中越沖地震の震源破壊過程と強震動  
入倉孝次郎・倉橋 奨・宮腰 研・○香川敬生
- P24. 弾性体と流体の中間状態を伝播する波の研究  
○澤田純男・後藤浩之・新垣芳一
- P25. 遮閉板を設置した円筒形タンク内のスロッシング挙動  
○高島大輔・澤田純男・米山 望・三浦正博
- P26. マルチスケールを導入した運動学震源インバージョン手法の試み  
○石井やよい・後藤浩之・澤田純男
- P27. アンボンド芯材を用いた高耐震性能橋脚の曲げ・ねじり変形特性  
○上村信悟・高橋良和
- P28. 穴水および田鶴浜の木造建物被害と微動特性  
新井 洋

- P29. 水流出モデルの枠組開発とシンプルモデル  
○藤本知世・五味高志・Roy C. Sidle
- P30. Environmental, socioeconomic, and cultural management consideration related to new mountain roads in Yunnan Province, China  
○Xia X. Zhang・Takahisa Furuichi・Roy C. Sidle
- P31. 中国三峡ダム貯水池における地すべり及び斜面変動  
汪 發武
- P32. 定体積せん断条件におけるすべり面液状化の DEM シミュレーション  
○福岡 浩・福井 理・斉藤龍太
- P33. 結晶片岩地すべり地における排水ボーリングからの排水量の実態  
末峯 章
- P34. Numerical analysis of full-scale dynamic lateral load tests of a 3×5pile group  
○Gi-Cheon Kang・Tetsuo Tobita・Susumu Iai
- P35. 自立式矢板護岸の動的解析法  
○上田恭平・飛田哲男・井合 進
- P36. JR羽越本線沿線の強風の特徴について  
○川端康弘・林 泰一
- P37. 温暖化による温帯低気圧の変化  
○阿部 良・石川裕彦
- P38. 台風 8019 号に伴い発生した竜巻に関する数値実験  
○佐藤和歌子・石川裕彦
- P39. 多良間島における台風観測  
○隈部康晴・林 泰一・坪木和久
- P40. バングラデシュとその周辺における雲システムの特徴  
○津島俊介・林 泰一
- P41. チベット高原上の水蒸気起源に関する研究  
○南 宏樹・石川裕彦
- P42. The turbulence characteristics of atmospheric boundary layer on the north side of Mt.Qomolangma (Mt. Everest) region  
○Maoshan Li・Hirohiko Ishikawa・Yaoming Ma・Lei Zhong
- P43. MTSAT-1R 中間赤外データを用いた雲反射率の算出  
○奥勇一郎・石川裕彦
- P44. 陸面過程モデルによる土壌水分量推定値の季節変動・年々変動の精度評価  
○萬 和明・田中賢治・中北英一
- P45. 中央アジア・キジルクム砂漠における地表面モニタリング  
○甲山 治・寶 馨・砂田憲吾



- P46. 西羽東師川流域の水文・環境観測と水・汚濁負荷流出解析  
城戸由能
- P47. Hydrologic prediction under global warming at Tone and Yodo river basins using the output of global 20-km mesh GCM  
○Sunmin Kim・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara・Eiichi Nakakita
- P48. Parameter compatibility under scale-dependant condition of distributed rainfall-runoff modeling  
○Giha Lee・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P49. Lumping a physically-based distributed sediment runoff model with embedding river channel sediment transport mechanism  
○Apip・Yasuto Tachikawa・Takahiro Sayama・Kaoru Takara
- P50. Analysis of vulnerability to flood hazard based on land use and population distribution in Huaihe river basin, China  
○Nanshan Zheng・Kaoru Takara・Yasuto Tachikawa・Osamu Kozan
- P51. FPOM (Fine Particulate Organic Matter) transport distance in artificial canals and natural rivers estimated by lake originated plankters as a tracer  
○Giyoung Ock・Yasuhiro Takemon・Satoshi Ichise
- P52. ダム貯水モデルを組み込んだ流域環境評価モデリング  
○浜口俊雄・小尻利治・森 英祐
- P53. 地球規模水・社会動態解析のためのマクロスケール水害発生判定モデルの開発  
○堀 智晴・岡本賢吾・野原大督
- P54. 次世代防災情報検索システムの開発  
○松浦秀起・辰己賢一・吉田義則・和田博夫
- P55. Scour around spur dyke  
– recent advances and future researches –  
○Hao Zhang・Hajime Nakagawa
- P56. 越流による河川堤防裏法面の侵食特性について  
○中川 一・伊藤直樹・川池健司・馬場康之・張 浩・内海崇晴
- P57. 都市域の内・外水氾濫解析における下水道システムのモデル化  
○川池健司・中川 一・今井洋兵・山田裕三
- P58. 豪雨による中小河川の洪水危険性について  
–新潟県小木城川を例にして–  
大塚健太・○戸田圭一・米山 望
- P59. 光ファイバーセンサーを用いた土砂動態モニタリング手法  
○藤田正治・堤 大三・武部真樹
- P60. 裸地斜面の地表面温度および地中温度分布  
○手島宏之・堤 大三・藤田正治

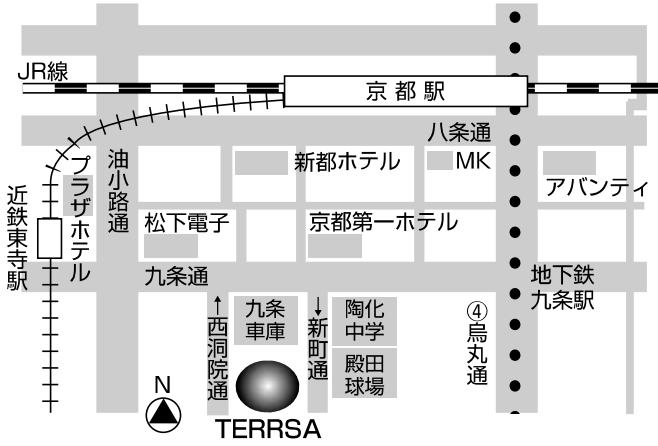
平成 20 年 2 月 29 日(金)

- P61. 山地渓流域における流砂量観測システムの構築  
○堤 大三・水山高久・野中理伸・藤田正治・志田正雄
- P62. 舷側設置型 ADCP による二次流計測について  
○武藤裕則・馬場康之・芹澤重厚
- P63. 海面風応力の変動特性に関するフィールド観測研究  
○杉原裕司・芹澤重厚・吉岡 洋・津守博通・桜木幸司
- P64. 東部熱帯インド洋の水温鉛直構造がダイポールモードの発生機構に果たす役割  
小林弘幸・○根田昌典・望月 崇・名倉元樹・芹澤重厚

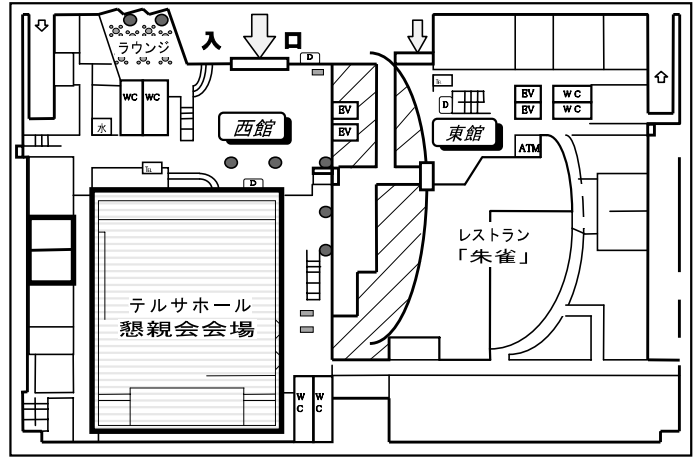
# 会場案内図



会場地図



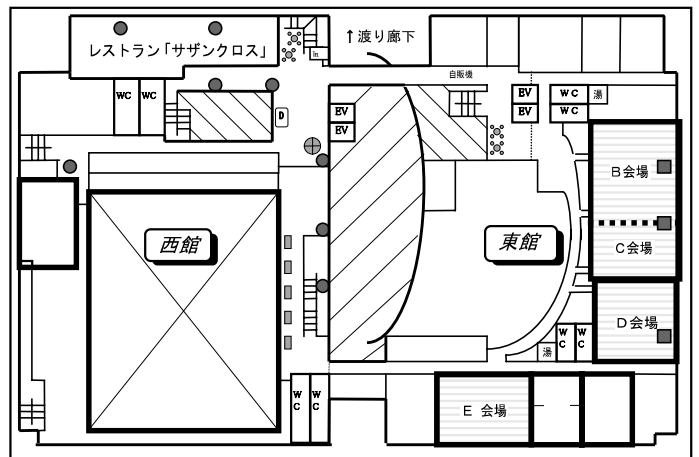
京都テルサ1階



## 交通のご案内

- ・ JR京都駅(八条口)より南へ徒歩約10分
- ・ 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- ・ 地下鉄九条駅④番出口より西へ徒歩約5分
- ・ 市バス九条車庫南へすぐ

京都テルサ2階



京都テルサ3階

